



アラウンドかなざわ

2015年春
北陸新幹線
金沢開業!

AROUND KANAZAWA

金沢からひとめぐり「アラウンドかなざわ」の旅

テーマでめぐる 周遊モデルコース





哲学と芸術・思索の
空間めぐり

P.03-04



源平ゆかりの地を
たずねる

P.05-06



目と心で味わう
芸術の世界へ

P.07-08



地域の食文化に
浸ってみよう

P.09-10



ほろ酔い
酒蔵探訪

P.11-12



恋人の聖地と
温泉郷

P.13-14



ローカル電車で
となり町まで

P.15-16



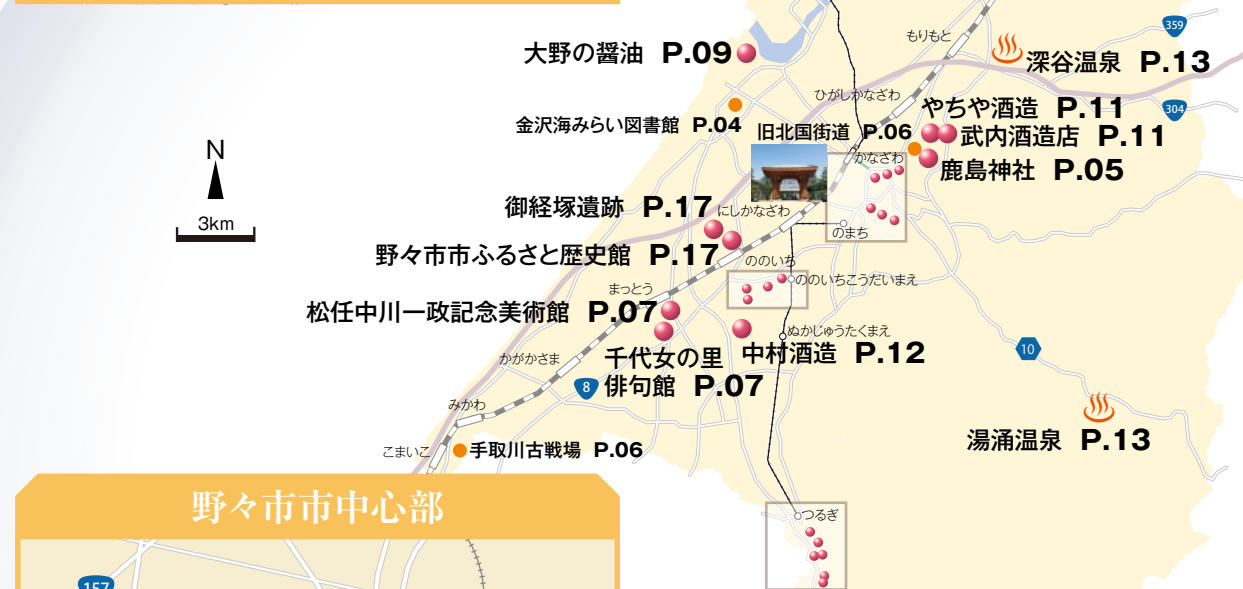
AROUND KANAZAWA
広域周遊コース

P.17-18

アROUND
かなざわ

AROUND KANAZAWA

テーマでめぐる
周遊
モデルコース



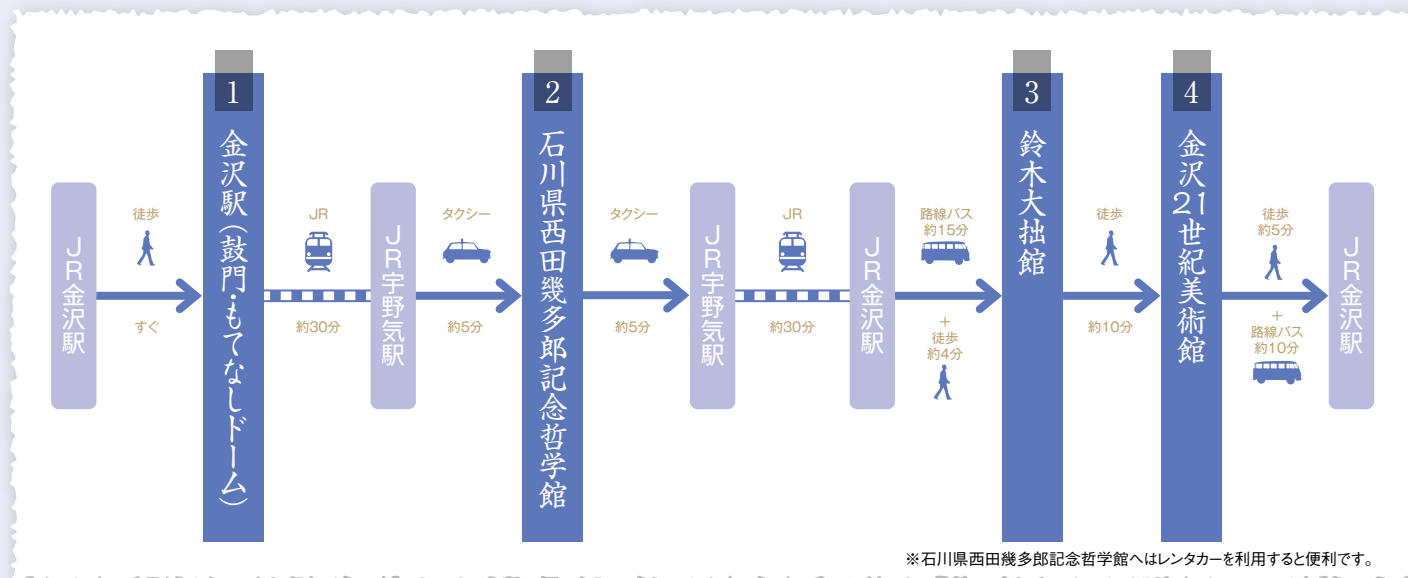
金沢駅前
バス乗り場等
案内図



※平成24年11月現在の案内図です。

哲学と芸術・思索の空間めぐり

世界的な哲学者、西田幾多郎、鈴木大拙を記念する施設は、その建築が生み出す独特の空間構成も魅力です。著名な建築家の手による考える空間、感じる場所を巡る小旅行です。



主なコースの見どころ

1 金沢駅（鼓門・もてなしドーム）

かなざわえき（つつみもん・もてなしドーム）



住 金沢市木ノ新保町1-1
料 無料
交 JR金沢駅前

MAP 1-2

金沢駅東広場には金沢を訪れる人に差し出す雨傘をイメージ、おもてなしの心を表わしたガラスのドーム「もてなしドーム」があります。地下には情報コーナーやイベントスペースがあり、多彩な催しが行われています。その正面に構えるのは、伝統芸能に使われる鼓をイメージした「鼓門」です。金沢のシンボルとして親しまれています。

3 鈴木大拙館

すずきだいせつかん



住 金沢市本多町3-4-20
☎ 076-221-8011
開 9:30～17:00
休 月曜（祝日の場合は翌日）、展示替期間、年末年始
料 一般300円、65歳以上200円、高校生以下無料
交 JR金沢駅から路線バス本多町バス停下車徒歩約4分

東洋や日本の文化を世界に伝え広めた金沢市出身の仏教哲学者鈴木大拙の考えや足跡にふれ、おちついて思索にふけることができる場です。設計は国際的な建築家である谷口吉生氏です。

2 石川県西田幾多郎記念哲学館

いしかわけんにしだきたろうきねんてつがくかん



住 かほく市内日角井1
☎ 076-283-6600
開 9:00～17:30
休 月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始
料 一般500円、高齢者・学生400円、高校生200円、中学生以下無料
交 JR宇野気駅からタクシー約5分、または徒歩約20分

MAP 1-1

かほく市出身の哲学者、西田幾多郎の業績や遺品を紹介しながら、哲学を「学ぶ」だけでなく「思索体験」ができる「心のオアシス」です。建築は安藤忠雄氏による設計で、打ちっぱなしのコンクリートにガラス張りの建物、大きな階段庭園などは、思索体験の場にふさわしい雰囲気です。施設内にカフェがあり、近くに洋食店もあるので休憩にも好適です。

4 金沢21世紀美術館

かなざわにじゅういっせいきびじゅつかん



住 金沢市広坂1-2-1
☎ 076-220-2800
開 無料ゾーン 9:00～22:00
有料ゾーン 10:00～18:00（金・土曜日は20:00）
休 月曜（祝日の場合は次の平日）、年末年始
料 無料（美術館主催の展覧会は有料）
交 路線バス香林坊バス停下車徒歩約5分

MAP 1-2

金沢の中心部に位置し、現代アートを中心とした作品を楽しむことができます。誰でも気軽に立ち寄ることができ、アートを通して様々な出会いが体験できる、公園の様な美術館です。設計者のSANAAは、この建物等により、ヴェネツィア・ビエンナーレ第9回国際建築展の金獅子賞を受賞しています。

「考える」「感じる」建築空間へのミニトリップ



※ --- は路線バス、--- はタクシー、--- は徒歩を表しています。



その他の見どころ



◆ 妙鏡寺跡つつじ園 みょうきやうじあとつつじえん

妙鏡寺跡本堂の裏側にある700平方メートルの斜面には、リュウキュウツツジを主として多数のツツジが植えられています。このツツジは裏山の斜面を利用して植えたもので、開花期の5月～6月初めには色とりどりの花が本堂を覆うように咲き、訪れる人を楽しませています。

●JR宇野気駅からタクシー約15分



◆ 石川四高記念文化交流館 いしかわしこうきねんぶんかこうりゅうかん

石川四高記念文化交流館は、西田幾多郎や鈴木大拙も学んだ旧第四高等学校の校舎を利用した赤レンガのモダンな建物です（重要文化財）。四高の歴史と伝統を伝える「石川四高記念館」と、石川県ゆかりの文学者の資料を展示する「石川近代文学館」で構成されており、三文豪をはじめ、四高が育んだ多彩な才能として、鈴木大拙や西田幾多郎の資料も展示されています。

●JR金沢駅から路線バス香林坊バス停下車徒歩約3分



◆ 金沢海みらい図書館 かなざわうみみらいとしょかん

金沢市西部の郊外にできた新しい図書館。建物は真っ白な箱形で、壁面には約6千個に及ぶ小さな丸い窓がびっしり。内部は3階建てで高い吹き抜けのある広々とした空間を丸窓から入る外光がやわらかく包みます。夜になると丸窓からほんわりと明かりが漏れる外観が楽しいです。設計は工藤和光と堀場弘の建築ユニット「シーラカンズK&H」です。2012年度グッドデザイン賞を受賞しました。

●JR金沢駅からタクシー約15分

住 かほく市多田水49
☎ 076-283-7137
（かほく市生涯学習課）
料 無料

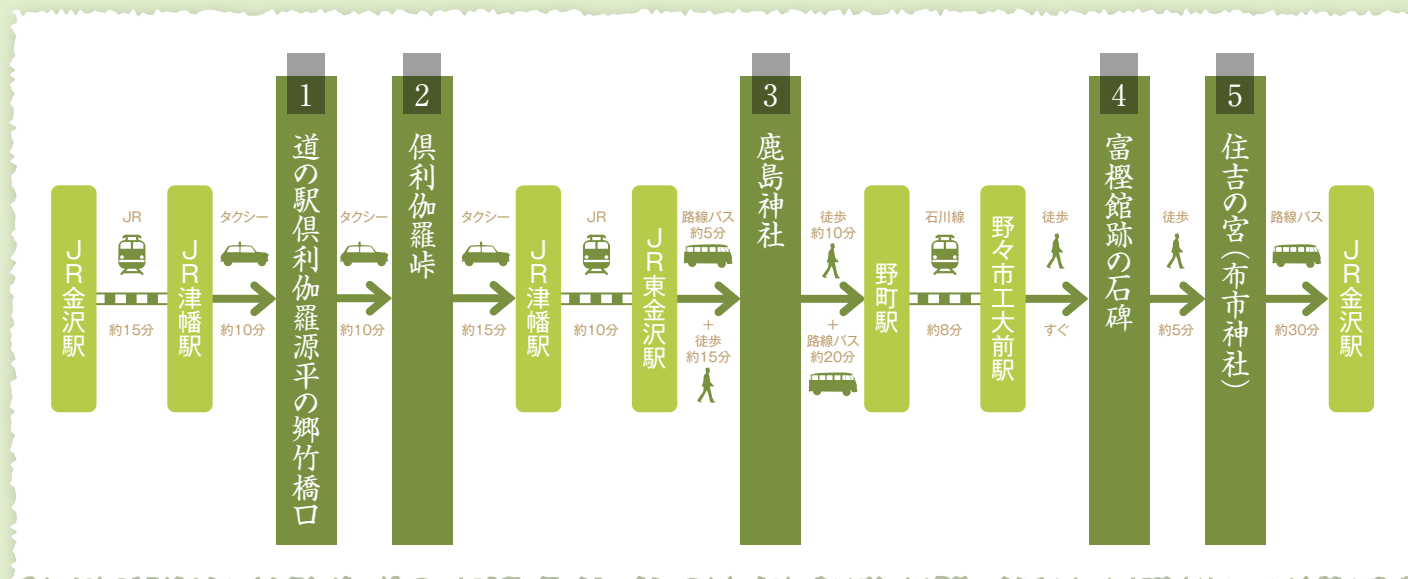
住 金沢市広坂2-2-5
☎ 076-262-5464
開 9:00～17:00
休 年末年始
料 （石川近代文学館）一般350円、高校生以下無料
（石川四高記念館）入館無料

住 金沢市寺中町イ1-1
☎ 076-266-2011
開 平日10:00～19:00
土日祝日10:00～17:00
休 水曜（祝日は開館）
特別整理期間／年末年始



源平ゆかりの地をたずねる

源平合戦が話題になっている今日、源氏や平氏が活躍した時代のゆかりの地をたどる旅です。
奇襲「火牛の計」で知られる倶利伽羅峠から、勅進帳で知られる弁慶、富樫の伝説の地をたずねていきます。



主なコースの見どころ

1 道の駅倶利伽羅源平の郷竹橋口

みちのえきぐりからげんべいのさとたけのはしぐち



住 津幡町竹橋西239-14
☎ 076-288-1054
開 通年、見学自由
料 無料
交 JR津幡駅からタクシー約10分

MAP 2-1

倶利伽羅峠の歴史を知ることができる道の駅です。倶利伽羅の戦いを描いた「倶利伽羅合戦図屏風」(複製)が展示されています。かつての街道は歴史国道として整備されており、脚力に自信のある方なら倶利伽羅峠まで徒歩約2時間の街道歩きも楽しめます。津幡町観光ボランティアガイド「つばたふるさと探偵団」の拠点となっています(要予約)。

3 鹿島神社

かしまじんじゃ



住 金沢市鳴和町ク117甲
開 通年
料 無料
交 JR東金沢駅から路線バス
鳴和バス停下車徒歩約15分

MAP 2-3

謡曲「勅進帳」で安宅の関を通り過ぎた義経主従が休憩したとされる場所です。義経主従の知恵と勇氣に感服した安宅の関守富樫泰家が差し入れた酒で一行は宴を開き、弁慶が「これなる山水の、落ちて巖に響くこそ、鳴るは瀧の水」と舞ったと伝わります。後に「鳴和の滝」と呼ばれることになる滝は、今はずっと小さな流れですが、ここ鳴和町の名前の由来ともなったそうです。

2 倶利伽羅峠

くりからとうげ



住 津幡町倶利伽羅
開 通年、見学自由
料 無料
交 JR津幡駅からタクシー約15分

MAP 2-1

「火牛の計」で知られる壮絶な源平合戦のあった場所です。木曾義仲率いる源氏軍と平維盛率いる平家軍が戦い、勝ったのは義仲軍でした。敗れた平家軍は、一人残らず馬もろとも地獄谷にたたき落とされたと伝わります。その後、倶利伽羅を通った義経主従は地獄谷に向かって念仏を唱え、平家の魂を弔ったと言われています。

4 富樫館跡の石碑

とがしやかたあとのせきひ



住 野々市市本町2丁目
開 通年、見学自由
料 無料
交 北鉄石川線野々市工大前駅
下車すぐ

MAP 2-2

安宅の関の一件で知られる富樫氏代々の居館跡の存在を広く知らせるために建てられたものです。富樫館跡は、守護所として当時の加賀国の政治・経済の中心地でした。義経らが金沢の大野湊神社で休んでいる時、弁慶は一人で富樫の館を訪れ、置いてあった大石を轡のように持ち上げ、軽々と投げ飛ばしたという伝説があるそうです。

戦乱の世のはじまりを追って



※ ーは路線バス、-はタクシー、-は徒歩を表しています。

MAP 2-2



5 住吉の宮(布市神社)

すみよしのみや(ぬのいちじんじゃ)



住 野々市市本町2-14-16
開 通年
料 無料
交 野々市工大前駅から
徒歩5分、または路線バス
野々市本町3丁目バス停から
徒歩約3分

MAP 2-2

加賀国の守護大名、富樫家が野々市に館を構えた際、敷地内に造営したとされる神社です。弁慶が富樫氏の館で投げ飛ばしたと伝わる大石「弁慶の力石」が境内に置かれています。この石は、干ばつの際に担ぎ回ると必ず雨が降ったそうで、「雨乞石」とも呼ばれています。

MAP 2-1



MAP 2-3



その他の見どころ

◆ 旧北国街道 きゅうほくこくかいどう

古くは北陸道と呼ばれた、律令制の制定で確定した東海、東山、北陸、山陰、山陽、南海、西海の7道の1つ。かつては、加賀藩主の参勤交代に使われ、俳聖・松尾芭蕉もこの道を歩きました。金沢城下の下口(北口)にあり、城下町の北境だった春日町に、北の入り口を示す「下口の松門」跡が残っています。
●路線バス鳴和バス停から徒歩約3分



◆ 手取川古戦場 てとりがわこせんじょう

1577年(天正5年)織田信長は、上杉謙信に脅かされた七尾城の畠山家臣長氏を救援するために、柴田勝家、前田利家らの軍勢を北陸に派遣しました。しかし、手取川を越えたところで上杉軍の猛攻にあい大敗を喫します。手取川古戦場を遠望する呉竹文庫前には、当時広まった落書き「上杉に遭うては織田も名取川(手取川)はねる謙信逃ぐるとお長(信長)」の碑があります。



住 金沢市大樋町・春日町
開 通年・見学自由

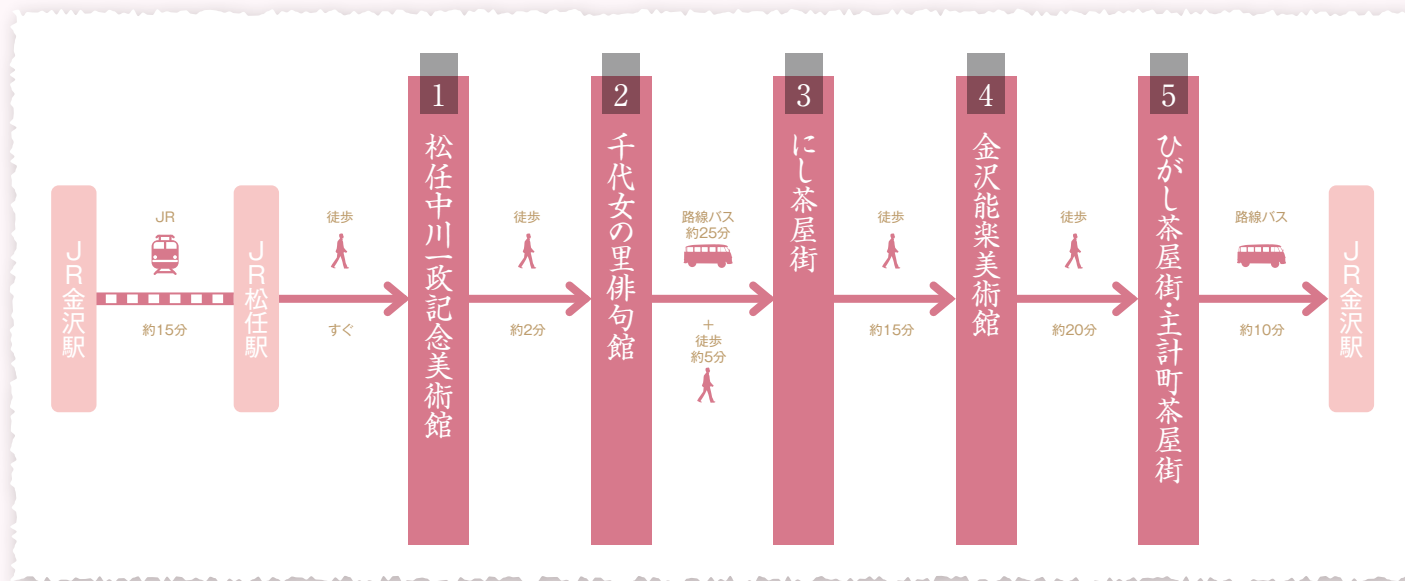
MAP 2-3

住 白山市湊町
☎ 076-278-7111
(石川ルーツ交流館)



目と心で味わう芸術の世界へ

洋画、俳句、能楽など、地域にゆかりの人物が広く影響を与えた芸術の世界へようこそ。
視覚はもちろん、耳を澄ませて、そして時に目を閉じて、心と身体で体験してみてください。



主なコースの見どころ

1 松任中川一政記念美術館

まっとうなかがわかずまさねんびじゅつかん



住 白山市旭町61-1 **MAP 3-1**
☎ 076-275-7532
開 9:00~17:00 (入館は16:30)
休 月曜 (祝日の場合は翌日)、年末年始
料 一般200円、高校生100円、中学生以下無料 (団体20名以上は半額)
交 JR松任駅下車すぐ

中川一政は明治生まれの旧松任市(白山市)に縁の深い芸術家です。代表作である『薔薇』『向日葵』などの油絵で有名ですが、詩、小説、書も手がけ、美術などの専門教育を受けることなく、全て独学でした。昭和50年に文化勲章を受章しています。本美術館では常時80点の作品を展示しており、猛烈な創作意欲が力強く伝わってくる鮮明な色彩の絵画を間近に見ることができます。

3 にし茶屋街

にしちやがいの



住 金沢市野町1丁目~3丁目
交 路線バス広小路バス停下車徒歩約5分

MAP 3-2

犀川からほど近く、出格子が美しい茶屋が整然と並び、夕刻近づくと家並みからは三味線の音色が流れます。島田清次郎を記念した西茶屋資料館の2階には、紅殻壁の座敷に三味線や太鼓、漆塗りの調度品が置かれ、贅沢な茶屋遊びの様子を伝えています。往時のたたずまいを残す西検番事務所は現在も芸妓の稽古場として使われています。

2 千代女の里俳句館

ちよじよのさとはいくかん



住 白山市殿町57-1 **MAP 3-1**
☎ 076-276-0819
開 9:00~17:00 (入館は16:30)
休 月曜 (祝日の場合は翌日)、年末年始
料 一般200円、高校生100円、中学生以下無料 (団体20名以上は半額)
交 JR松任駅から徒歩約2分

千代女は江戸時代の松任(白山市)の女性俳人です。「朝顔やつるべとられてもらひ水」の句は特に有名で、句にちなみ朝顔は白山市の花にもなっています。彼女の俳句は女性らしい視点で素朴な味わいに満ちています。本俳句館は俳句を通じた交流、体験活動の拠点となっています。

4 金沢能楽美術館

かなざわのうがくびじゅつかん



住 金沢市広坂1-2-25 **MAP 3-2**
☎ 076-220-2790
開 10:00~18:00 (入館は17:30まで)
休 月曜 (休日の場合はその翌日)、年末年始
料 300円 (65才以上の高齢者200円) 高校生以下は無料
交 路線バス広坂バス停下車すぐ

加賀藩の時代から、「空から謡が降ってくる」と言われるほどに武士や庶民が広く嗜んでいた能楽、「加賀宝生」ゆかりの貴重な能面・能装束を展示・所蔵している美術館です。「能面・能装束体験コーナー」では、予約なしで能の装束を纏い、約20の能面から選んで、写真を撮ることができます。初心者でも理解しやすい映像や模型での解説はもちろん、能や狂言の絵本コーナーなどもあります。

風土が生んだ美術・文学・芸能・工芸を体験



5 ひがし茶屋街・主計町茶屋街

ひがしちややがいのいかずえまちちややがいの



住 金沢市東山1丁目、主計町一帯
交 路線バス橋場町バス停下車すぐ

MAP 3-2

浅野川の流れを挟む2つの茶屋街。一階に出格子のある背の高い建物が立ち並ぶまちなみは歴史的にも貴重で、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。「ひがし」は道を挟んで両側に整然と続き、一方の「主計町」は浅野川沿いに続くまちなみが特徴です。どちらも裏通りに入ると建物がひしめくように建っています。ほのかな明かりでまちが照らし出される夜景も必見です。

※ --- は路線バス、--- は徒歩を表しています。



その他の見どころ

◆ 海と渚の博物館 うみとなぎさのはくぶつかん



日本海を望む砂丘に建つ、人と海との関わりと暮らしをテーマに、能登半島の海の民俗資料を伝える博物館です。昭和初期から30年代後半にかけて、かほく市海岸一帯及び能登半島の漁村に使われていた、数多くの貴重な漁具類や郷土資料が展示されています。1階の展示回廊では、市内外の方々による作品展示会が随時開催され、文化・芸術の交流の場にもなっています。

●JR宇野気駅からタクシー約10分

住 かほく市白尾ム1-3
☎ 076-283-8880
開 9:00~17:00
休 月曜 (祝日の場合は翌日) 年末年始
料 大人200円、小中高生100円 幼児は無料

◆ 金沢・クラフト広坂 かなざわくらふとひろさか



金沢能楽美術館入口の向かい側にある、現代の暮らしにあったクラフト製品を提案するショップです。20を超える希少な伝統工芸の技術が息づく金沢の作り手たちによる、さまざまな品が一堂に集められています。

●JR金沢駅から路線バス広坂バス停下車すぐ、金沢能楽美術館内

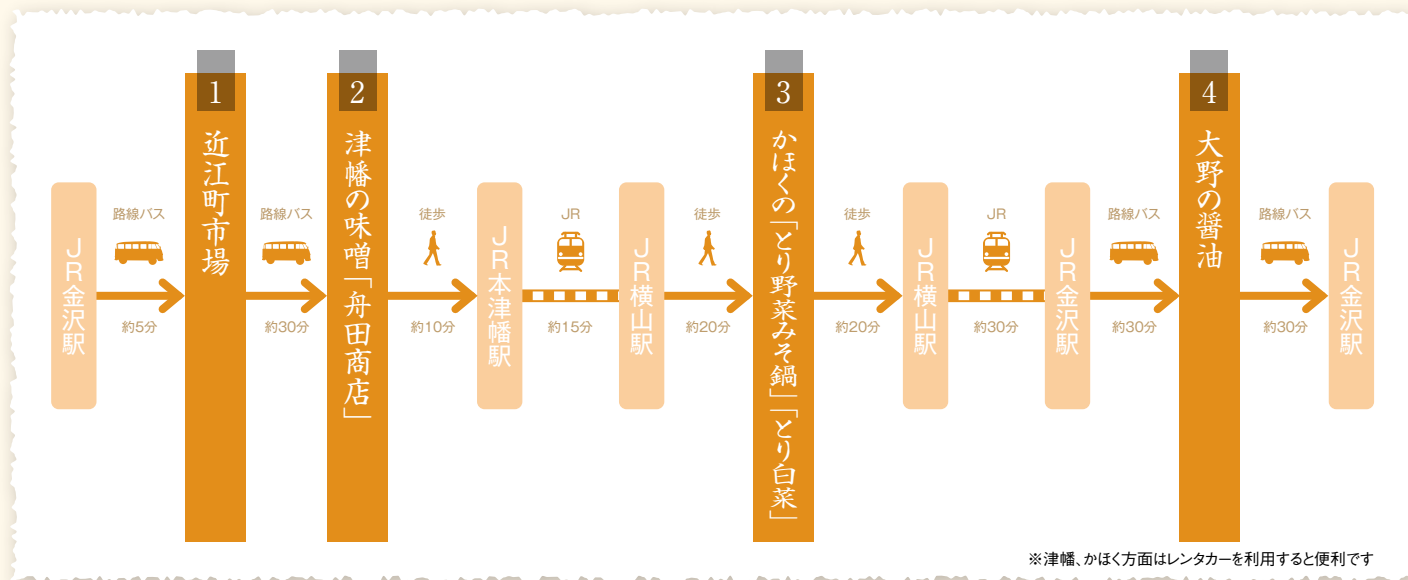
住 金沢市広坂1-2-25
☎ 076-265-3320
開 10:00~18:00
休 月曜、年末年始

MAP 3-2



地域の食文化に浸ってみよう

普段何気なく使っている味噌や醤油といった調味料は、他所とは違う地域独特の味を生み出す大本になるもの。折角ですから、ここは地元の人になりきって、昔ながらの手法を守り、地域の食文化を支えるお店をたずねます。



主なコースの見どころ

1 近江町市場

おうみちやういちば



住 金沢市上近江町50
☎ 076-231-1462
開 休 店舗により異なる
交 JR金沢駅から路線バス武蔵が辻バス停下車すぐ

MAP 4-1

武蔵が辻交差点にある「金沢市民の台所」です。1721年、金沢城下にあった市場がこの地に集められたのがそのはじまりとされ、以来約290年にわたって金沢の食文化を支える市場として親しまれています。平成21年4月に「近江町いちば館」が誕生し、日曜営業も始まり、新たな賑わいを見せています。

2 津幡の味噌「舟田商店」

つばたのみそ「ふなだしやうてん」



住 津幡町庄ウ13
☎ 076-289-2031
開 8:00~20:00
休 年中無休
交 路線バス武蔵が辻バス停から本津幡行き、庄町商店街バス停下車すぐ、またはJR本津幡駅から徒歩約10分

MAP 4-2

JR本津幡駅近くの庄町商店街にある味噌屋「舟田商店」は文久2(1862)年創業の老舗。町屋風の店は築100年近いもの。店の裏にある味噌蔵では、今も昔ながらの製法で木樽で仕込んで味噌を造っています。見学については事前にご連絡ください。

3 かほくの「とり野菜みそ鍋」「とり白菜」

かほくの「とりやさいみそなべ」「とりはくさい」



◎ レストランまつや
住 かほく市木津ハ14-2
☎ 076-285-0095
交 JR横山駅から徒歩約10分
◎ 味処さぶろうべい
住 かほく市高松丁42
☎ 076-281-0529
交 JR横山駅から徒歩約15分

MAP 4-3

「まつや」の「とり野菜みそ鍋」(写真左)は鶏肉と白菜などの野菜を特製の味噌で煮込んでいただきます。「さぶろうべい」の「とり白菜」(写真右)は鶏肉と白菜を炒めて特製の醤油だれをつけていただきます。シンプルなのに個性的な料理で、価格もリーズナブルです。お昼時には多くの人で賑わいますので、ちょっと早めに行くのがお勧めです。

4 大野の醤油

おおのしょうゆ

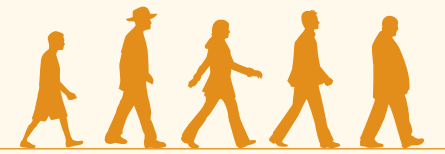


住 金沢市大野
☎ 076-268-1301
(大野醤油醸造協業組合)
交 路線バス中橋バス停(JR金沢駅から徒歩5分)から大野行または大野港行で終点下車

MAP 4-1

金沢城下町から海に開けた港町として栄えた大野のまち。そこに息づくのは江戸初期に遡る醤油の製造です。水が豊富で、材料の調達に便利な港町という立地が醤油造りを盛んにしたとも言われています。お土産にはもちろん、複数の醤油の味比べも楽しんでみて下さい。また見学のできる蔵もありますのでぜひ覗いてみて下さい。

地元目線で「いつもの味」が生まれる場へ



※ --- は路線バス、--- は徒歩を表しています。



その他の見どころ



◆ 白峰の堅豆腐 しらみねのかたとうふ

手取川を遡った最上流にある、白山の山懐に抱かれた白峰。峠を越えた越前(福井県)との交流も盛んだったこの地は、独特の生活習慣、食文化を培ってきたところです。堅豆腐は、普通の豆腐よりも水分を絞り、ずっしり重く、型崩れしない、大豆のエキスがぎっしりつまった山の暮らしから生まれた豆腐です。各豆腐屋さんが、それぞれに自慢の豆腐を毎日作っています。

●JR金沢駅から路線バス約120分、白峰バス停下車



◆ ホリ牧場「夢ミルク館」 ほりほくじょう「ゆめみるくかん」

内灘市街地から見下ろす広大な河北潟干拓地の真ん中にあり、400頭近くの乳牛が育てられています。直売施設「夢ミルク館」では、名物のソフトクリームを始め、新鮮な牛乳から作られたさまざまな乳製品が並んでいるほか、ポニーやうさぎなどの小動物とふれ合うこともでき、休日には小さな子どもたちを連れたファミリーで賑わいます。

●北鉄浅野川線内灘駅からタクシー約15分

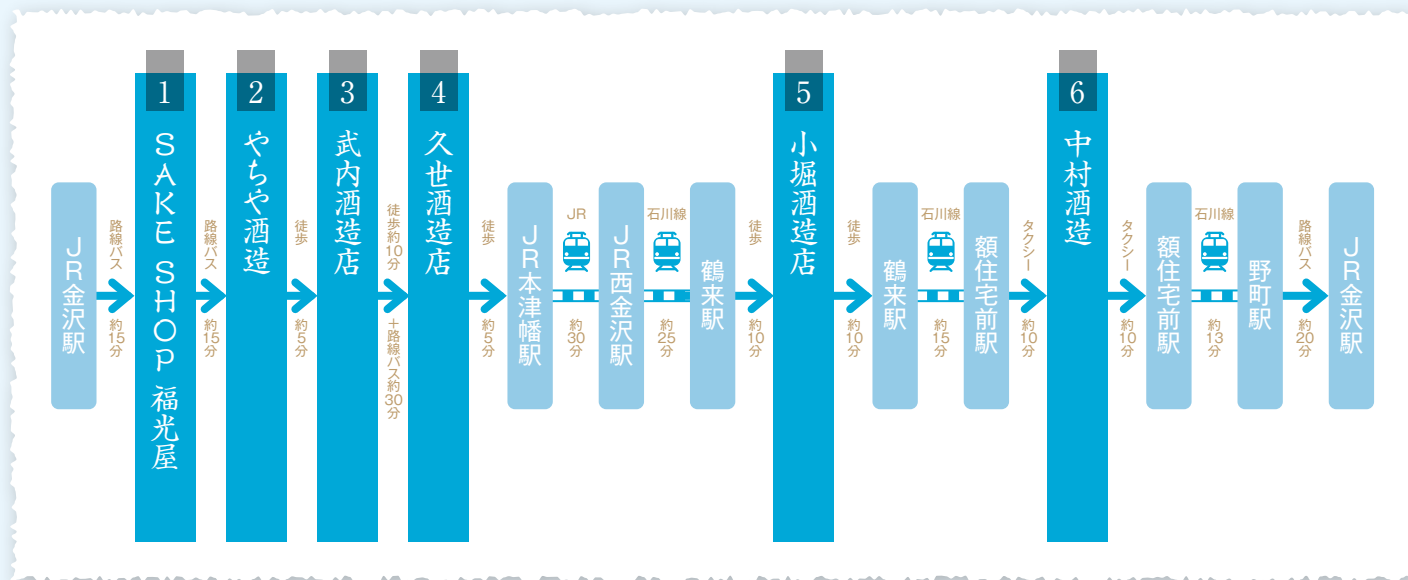
住 白山市白峰
☎ 076-259-2721
(白峰観光協会案内所)

住 内灘町湖西243
☎ 076-255-1369
休 木曜(5月~9月無休)
冬期は土日祝日のみ営業

MAP 4-1

ほろ酔い、酒蔵探訪

金沢とその周辺のまちには、広く知られている銘柄から、地元の人たちだけで消費されてしまうような小さな蔵まで、たくさんの酒蔵があります。電車、バスに乗ってのんびりと巡ってみましょう。



主なコースの見どころ

1 SAKESHOP 福光屋

さけしよぶふくみつや



住 金沢市石引2-8-3 **MAP 5-1**
☎ 076-223-1117
開 10:00~19:00
 見学10月~4月末、月曜・金曜
 14時~、2~5名(予約1週間前)
休 年末年始のみ
交 JR金沢駅から路線バス
 小立野バス停下車すぐ

福光屋の創業は1625年。金沢で最も長い歴史を持つ酒蔵です。蔵元直営店では日本酒をはじめ、米発酵から生まれるさまざまなアイテムを提案しています。イートインではお酒と酒肴、酒蔵のスイーツなどをお楽しみいただけます。

3 武内酒造店

たけうちしゅぞうてん



住 金沢市御所町イ22乙 **MAP 5-1**
☎ 076-252-5476
休 不定休
交 路線バス鳴和バス停から
 徒歩約10分

金沢の北東部の山林に囲まれて静かにたたずむ、煉瓦煙突のある浮屋根土蔵づくりの酒蔵です。日本でも有数の小さな蔵元で、近隣にのみ製造直販を行っています。「御所泉吟醸」(旧一級酒)は、地元産酒造好適米のみを使用し、米と自然伏流水が見事に調和したお酒です。見学は事前にお問い合わせください。

2 やちや酒造

やちやしゅぞう



住 金沢市大樋町8-32 **MAP 5-1**
☎ 076-252-7077
開 9:00~17:30
休 日曜(月曜が祝日の場合は月曜)、
 年末年始
料 見学は300円(同額の買物券付)
交 路線バス大樋町バス停から
 徒歩約5分

旧北国街道沿いに店を構える酒蔵。前田利家にお伴した先祖が「やちや(谷内屋)」の屋号と酒銘「加賀鶴」を拝受したのがはじまり。江戸中期に建てられた酒蔵は今も現役で、典型的な商家の構えの母屋とともに、登録有形文化財に指定されています。

4 久世酒造店

くせしゅぞうてん

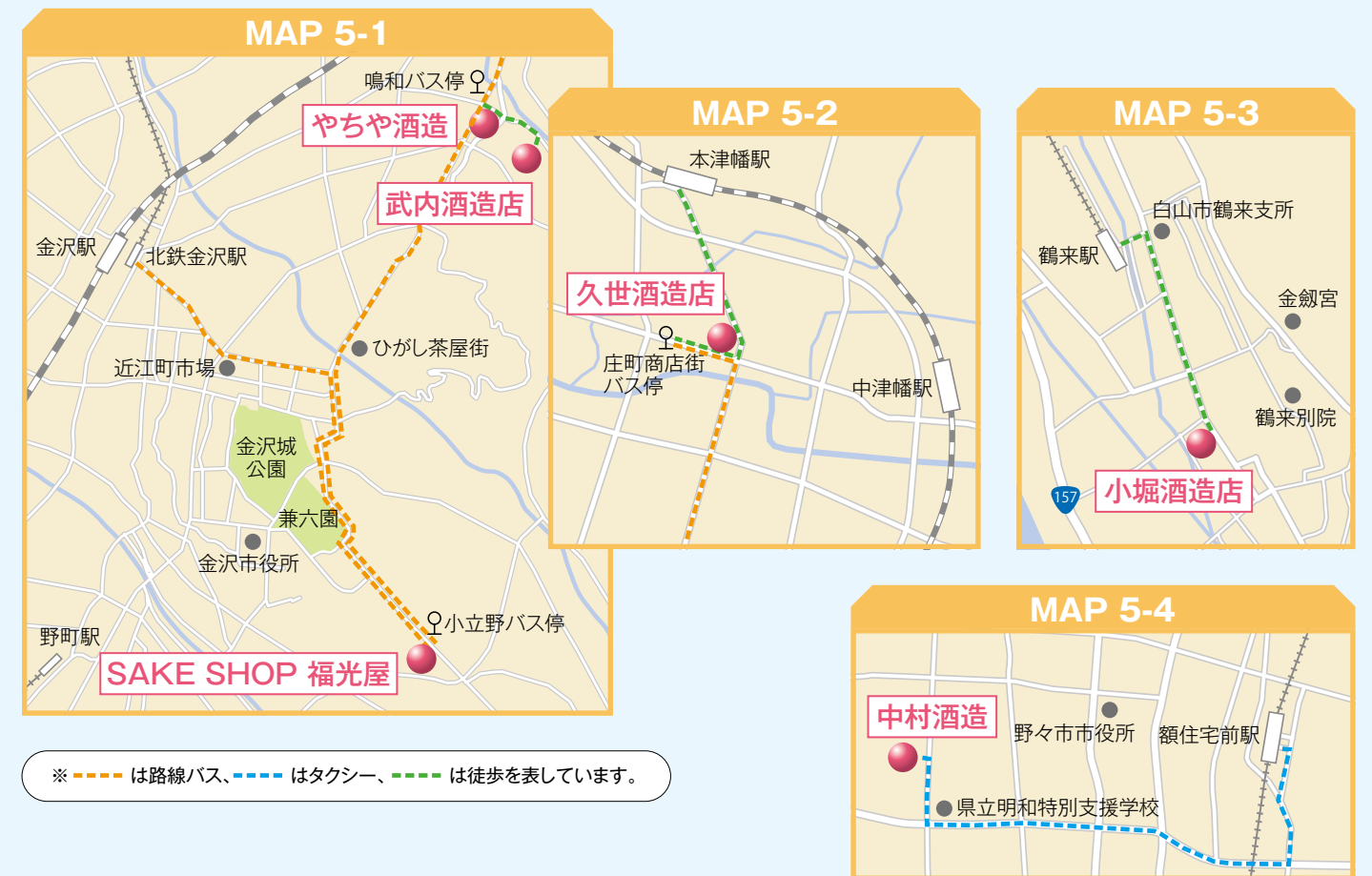
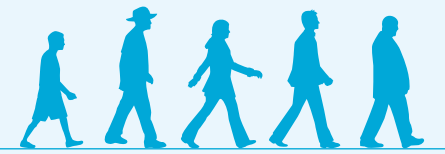


住 津幡町清水イ122 **MAP 5-2**
☎ 076-289-2028
開 8:00~20:00
休 日曜
交 路線バス庄町商店街バス停から
 徒歩約2分またはJR本津幡駅から
 徒歩約5分

津幡のまちなか、加賀と能登、越中への分岐点となる四つ角に蔵を構える酒造店です。創業は古く1786年に遡るといいます。代表銘柄は「長生舞」と「能登路」。米作りから手がけ、自社地下水(硬水)と湧き水(軟水)を使い分けてお酒を造っています。湧き水は、店からほど近いところにある「しょうず(清水)」と呼ばれる湧き水で、多くの人たちが水をくみに来る名水です。

お酒はもちろん、お店の個性も楽しんで

お酒の味はもちろんのこと、お店の雰囲気や個性的なご主人、店員さんとのやりとりも楽しみのひとつ。



※ --- は路線バス、--- はタクシー、--- は徒歩を表しています。

5 小堀酒造店

こほりしゅぞうてん



住 白山市鶴来本町1-747 **MAP 5-3**
☎ 076-273-1171
開 9:00~17:00
休 年末年始のみ
料 庭の見学は500円(甘酒とスイーツ付、
 1週間前までに要予約)
交 北鉄石川線鶴来駅から徒歩約10分

鶴来のまちなかのど真ん中、「萬歳楽」の大きな扁額を掲げる築200年を越える店が建っています。店の内部は古い木造建築をそのまま活かした、やさしい雰囲気です。奥は小さなギャラリーになっていて、アートの展示会も開かれます。蔵の裏には庭園があり、さまざまな樹木が集められています。ちょっと変わった石や灯籠もある不思議な雰囲気の庭です。

6 中村酒造

なかむらしゅぞう



住 野々市市清金2-1 **MAP 5-4**
☎ 076-248-2435
開 10:00~17:00
休 土日、年末年始
交 北鉄石川線額住宅前駅から
 タクシー約10分

「日栄」で知られる、文政年間に創業した金沢の老舗の蔵元です。金沢の文化・風習と食を大切に守り、地元産米と地元の風土を大切にした酒造りにこだわります。現在は、製造の場を野々市市に移しています。「ichi椿」は野々市の花である椿からとれる酵母を使用してつくられた珍しい日本酒です。見学は事前にお問い合わせください。

その他の見どころ



◆ 白山菊酒 はくさんきくさけ

「白山菊酒」は、加賀菊酒の伝統を受け継ぐ手取川の伏流水を使って酒を造る白山市内の5つの蔵元が共同して立ち上げた日本酒のブランドです。日本酒の質の向上、そして良質な酒を生み出す地域「銘醸地」としての発信を目指して、伝統的な醸造手法、厳しい品質基準を設けています。毎年の厳しい審査会において、この基準を満たした日本酒だけが、「白山菊酒」の名称を名乗ることができます。

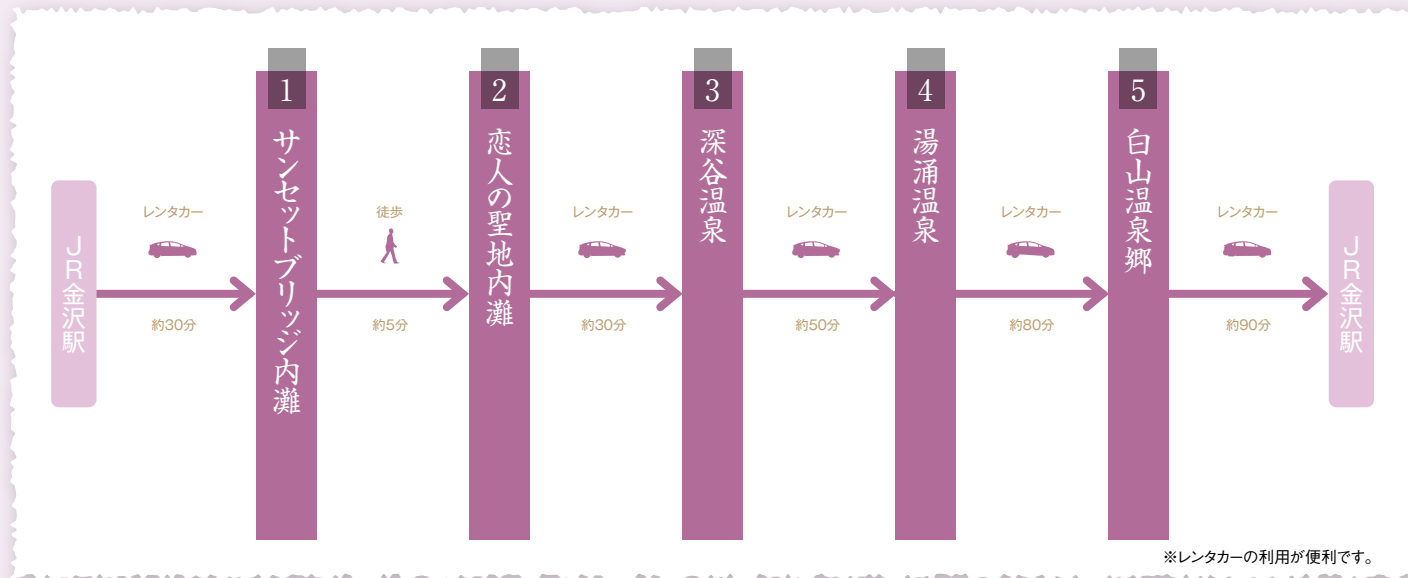
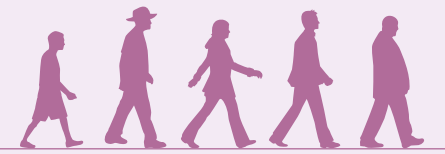
住 白山市東新町12
☎ 076-276-4888
 (白山菊酒呼称統制機構)
 ・金谷酒造店「高砂」 ・車多酒造「天狗舞」
 ・菊姫合資会社「菊姫」 ・吉田酒造店「手取川正宗」
 ・小堀酒造店「萬歳楽」



恋人の聖地と温泉郷

「恋人の聖地」へ行きましょう。雄大な日本海の眺望を楽しんだ後は、静かな山の温泉地へと向かう、変化に富んだコースです。

海岸から里山の温泉をめぐり、白山ろくへ



主なコースの見どころ

1 サンセットブリッジ内灘

さんせつとぷりっじうちなだ



MAP 6-1

日本海を望む河北潟放水路のはるか上にかかる橋。正式な名前は「内灘大橋」ですが、「サンセットブリッジ」の愛称の通り、水路の先に日本海に沈む夕日を眺めることができます。やわらかな曲線を描く2本の巨大な橋脚とワイヤーの直線で構成された優美な斜張橋で、夜になると季節ごとに趣向を凝らしたカラー光線でライトアップされます。

2 恋人の聖地内灘

こいびとのせいちうちなだ



MAP 6-1

内灘海岸とサンセットブリッジの周辺一帯は恋人の聖地「LOVE&BEACH/サンセットブリッジ内灘」に選定されています。サンセットブリッジに近い見晴台には「幸せへの鐘」やオブジェ「ダブルハート」があり、恋人仕様で整備済み。日本海から河北潟に至る360度の展望も見事です。

3 深谷温泉

ふかたにおんせん



MAP 6-1

金沢市街地の喧噪から離れた里山の谷間にある小さな温泉場。自然に囲まれた山間の静けさが多い文人、茶人の心を捉え、北大路魯山人、竹久夢二といった人々も宿泊した記録が残っています。旅館の大広間を観覧席として庭に設えられた能舞台は、大正年間に能楽を嗜んだ数寄者として知られた6代目当主が建てた本格的なもの。日帰り入浴あり。能舞台など館内の見学は事前にお問い合わせください。

4 湯涌温泉

ゆわくおんせん



MAP 6-1

歴代加賀藩主の湯治場であり、大正時代には詩人・画家の竹久夢二が愛人笠井彦乃を伴って逗留した静かな温泉地です。近年では、テレビアニメ「花咲くいろは」の放映により大勢のアニメファンが訪れ、劇中の祭りを現実のものとして再現した「湯涌はんばり祭り」を開催し注目を集めています。総湯「白鷺の湯」や「湯涌夢二館」、「湯涌江戸村」など見所も豊富です。

5 白山温泉郷

はくさんおんせんきょう



MAP 6-1

手取川の上流部、白山ろく一帯は、沢山の温泉場があります。中宮温泉、岩間温泉、一里野温泉、手取温泉、白峰温泉など、いずれも小規模ですが、日帰り入浴が可能な施設が多く、気軽に天然温泉を楽しむことができます。一里野温泉は、「恋人の聖地」に選定されています。

MAP 6-1

※能登有料道路は平成25年4月1日から無料となり、「ふるさと紀行「のと里山海道」」となります。

※ --- はレンタカーを表しています。

その他の見どころ



◆ 白山工房 はくさんこうぼう

古くは牛首村と言った白峰に伝わる織物、牛首紬の展示施設。繭から糸を引き、反物にするまでを見ることができます。かつて養蚕は現金収入をもたらす重要な産業でした。売りものにならない繭や玉繭(2匹の蚕が入った繭)から糸を引き、自家用としたのが牛首紬のはじまりです。所々に小さな糸だまの残る素朴な風合い、釘抜紬の異名を取るほどの丈夫さで高く評価されています。

●JR金沢駅から路線バスで約120分、白峰バス停下車徒歩約10分



◆ 白山百膳 はくさんひゃくぜん

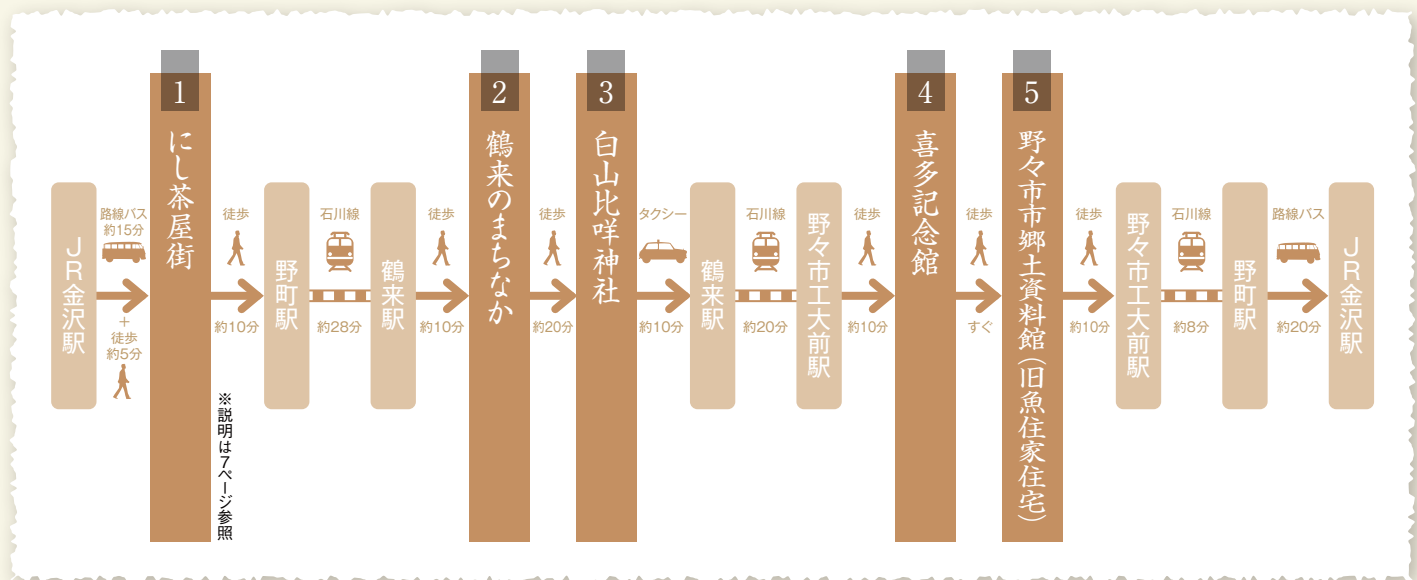
白山ろくの人たちの創意工夫から、白山のきれいな水がもたらす米や山菜などの素材を活かして創作された御膳。白山ろくの素材を活用していること、健康・長寿・ヘルシー・オリジナリティにこだわること、白山ろくで調理し提供するものに限ること、これらが「白山百膳」の定義です。白山市内だけでなく、五箇山・白川郷の飲食店や旅館も参加して、バラエティに富んだ料理が提供されています。

住 白山市白峰ヌ17
☎ 076-259-2859
開 9:00~16:00
休 木曜(12~3月は休館)
料 見学400円(体験は別途)

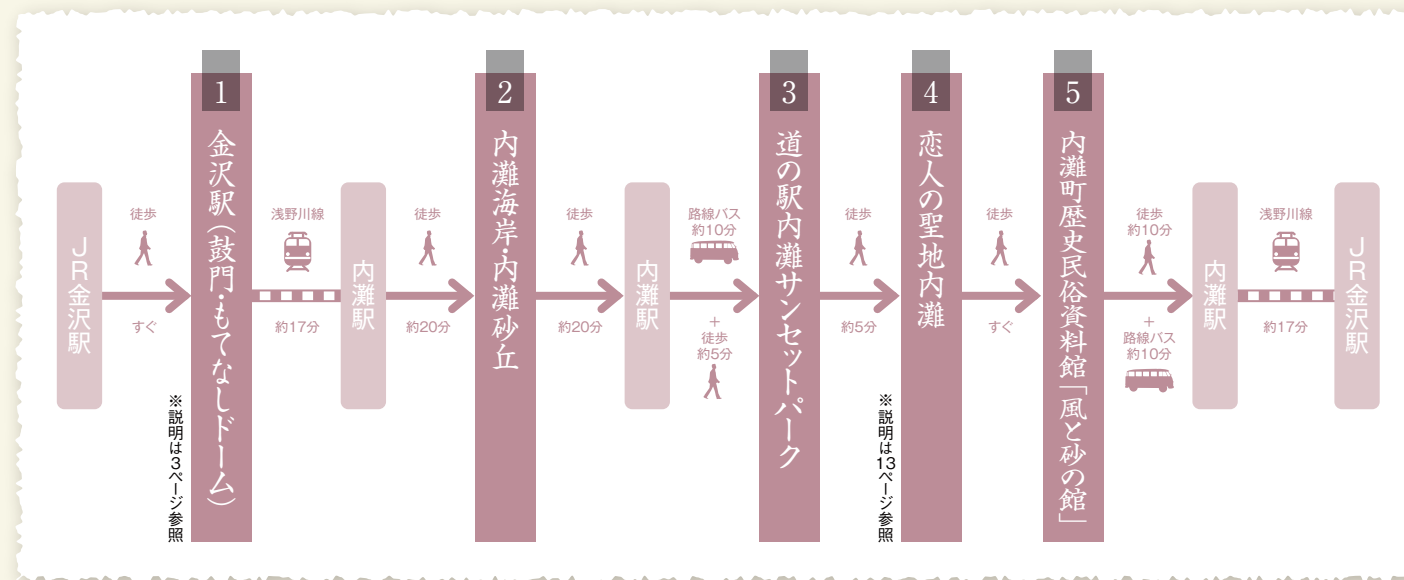
住 白山ろく一帯
☎ 076-273-4851
(白山市観光情報センター)



ローカル電車でとなり町まで



北鉄石川線、浅野川線に乗って 鶴来、野々市、内灘をたずねます



主なコースの見どころ

2 鶴来のまちなか

つるぎのまちなか



- 住 白山市鶴来地区一帯
- 交 北鉄石川線鶴来駅から徒歩

鶴来は、白山比咩神社、金劔宮の門前町として、また白山ろくとの交易で栄えた商業のまちです。鶴来駅から歩いて行くと、食料品店や飲食店、酒蔵など、個性的な店の並ぶ商店街が続きます。町の東側、山すそ一帯は由緒ある寺が並ぶ寺町。まちのほぼ中央にある「横町うらら館」は、築170年の商家を活かした休憩所です。白山比咩神社までのんびり歩いてみてください。

4 喜多記念館

きたきねんかん



- 住 野々市市本町3-8-11
- ☎ 076-248-1131
- 開 9:00~16:00
- 料 大人400円、小人200円
- 交 北鉄石川線野々市工大前駅から徒歩約10分

喜多家は、1686年に野々市に移住して灯油の製造販売業を始め、幕末から1971年まで酒屋を営みました。現在の建物は、1891年の大火の後に金沢から移築したもので、加賀地方の古い町家形式を示す建物として、国の重要文化財に指定されています。豪華な調度品や絵画、書状など歴史的な展示品も多く、ご当主が説明をしてくれます。

3 白山比咩神社

しらやまひめじんじや



- 住 白山市三宮町ニ105-1
- ☎ 076-272-0680
- 開 通年、見学自由、宝物館9:00~16:00 (11月のみ9:30~15:30)
- 休 宝物館のみ12月~3月休館
- 料 参拝無料、宝物館一般300円 高校生以下無料
- 交 鶴来駅から徒歩約30分、またはタクシー約10分

富士山、立山と並ぶ霊峰白山を御神体とする神社。全国の白山神社の総本宮でもあります。「越のしらやま」として古くから知られ、江戸時代には加賀藩の庇護を受け、現在の本殿は10代藩主重教が寄進したもの。宝物館では、鎌倉時代の狛犬など重要文化財を含む多くの美術工芸品や歴史資料が展示されています。

5 野々市市郷土資料館(旧魚住家住宅)

のいちしきょうどしりょうかん(きゅううおずみけじゅうたく)



- 住 野々市市本町3-19-24
- ☎ 076-246-2672
- 開 10:00~18:00
- 休 月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土・日は除く)、年末年始
- 料 無料
- 交 野々市工大前駅から徒歩約10分、喜多記念館のすぐ向かい

安政年間(1850年頃)に石川郡村井村(現白山市)に建てられた農村の商家で、表構えは町家、間取りと構造は農家という独特な複合建築物です。1993年に現在地へ移築し、住宅の奥には2階建ての展示棟を併設しました。明治から昭和期の生活や農業の様子を垣間見ることができます。

主なコースの見どころ

2 内灘海岸・内灘砂丘

うちなだかいがみ・うちなだきゅう



- 住 内灘町千島台地先
- 交 北鉄浅野川線内灘駅から徒歩約20分

内灘海水浴場は日本でも有数の砂丘の一つである内灘砂丘の南に位置しています。美しい夕陽や、風紋を見ることができ、周辺には海滨植物も群生しています。またマリンスポーツが通年楽しめるレジャーの拠点としても知られています。海岸の一角に、内灘闘争の原因となった米軍試験場で使われた指揮所の建物が残されています。

5 内灘町歴史民俗資料館「風と砂の館」

うちなだまちれきしんぞくしりょうかん「かぜとすなのやかた」



- 住 内灘町宮坂に455
- ☎ 076-286-1189
- 開 10:00~17:00
- 休 毎月第1火曜、年末年始
- 料 一般200円、小中高生無料
- 交 内灘駅から路線バス 医大病院バス停下車徒歩約10分

戦争を挟んで急激な変化を遂げた内灘の歴史を知る施設です。展示は、終戦後に鉄道が通じる内灘海岸を米軍の試験場として接収しようとする政府に対して、日本中を巻き込んだ強力な反対運動が起こった内灘闘争、そして、北陸の宝塚と例えられつつ戦争により跡形もなく消えた栗ヶ崎遊園です。前庭にあるコンクリート製のアーチが栗ヶ崎遊園の唯一の遺構です。

3 道の駅内灘サンセットパーク

みちのえきうちなださんせつぱーく



- 住 内灘町大学1-4-1
- ☎ 076-282-7080
- 休 年末年始(12/31~1/3)
- 交 内灘駅から路線バス 医大病院バス停下車徒歩約5分

サンセットブリッジのすぐ近く、河北潟をはるかに望む眺望のすばらしい道の駅。天気が良ければ白山から立山まで見られることもあります。周辺の農家でとれた野菜や、河北潟干拓地の牧場から毎日届く乳製品などが販売されています。



サイクルトレイン 自転車を借りて、電車に乗ろう

北鉄石川線、浅野川線では、3月16日から11月30日までの期間、ラッシュ時を除く平日日中(9時半頃から午後3時頃まで)と土日祝日(一日中OK)に、電車内に自転車を持ち込めるサイクルトレインを実施しています(雨天の場合は、電車内が滑りやすいので、中止することがあります)。石川線は野町駅~鶴来駅間の全ての駅で、浅野川線は北鉄金沢駅と内灘駅のみで利用できます。

自転車があれば鶴来、野々市、内灘のまちなかめぐりの範囲も広がります。天気に恵まれた日には、金沢駅のレンタサイクルで乗ってみてください。

※イベント及び多客時は、おことわりする場合もあります。

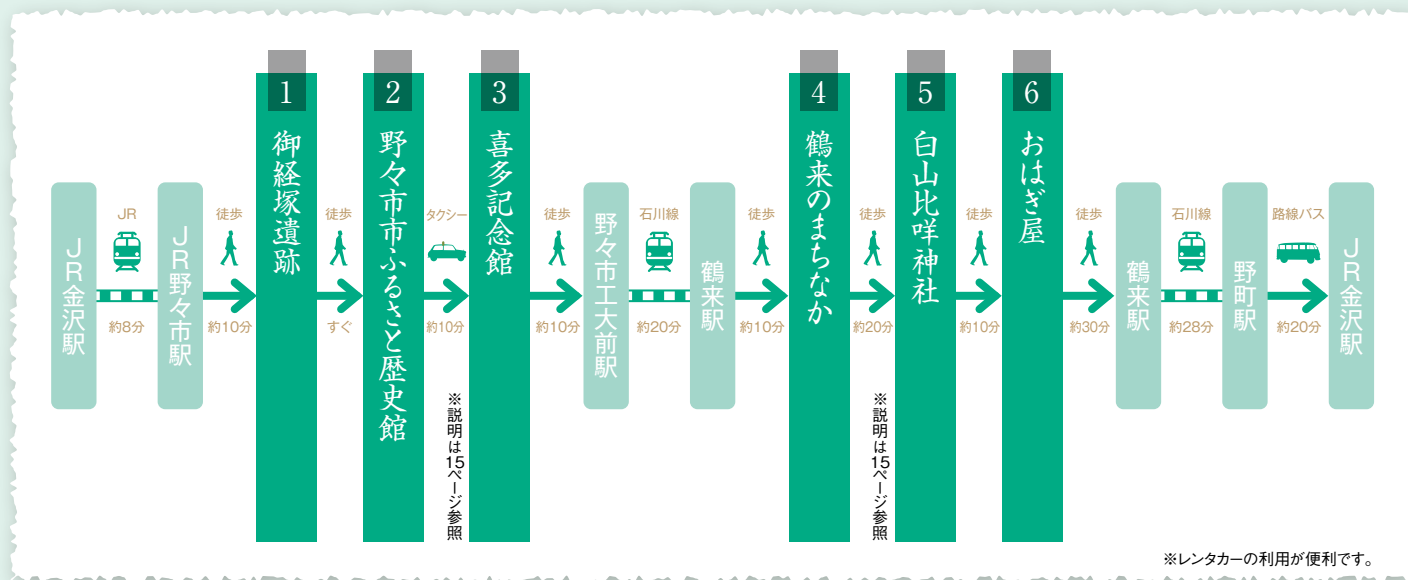
● 問い合わせ先 ●
北陸鉄道テレホンサービスセンター ☎ 076-237-5115



AROUND KANAZAWA 広域周遊コース

南部ルート

金沢駅を出発して、野々市市、白山市鶴来を巡ります。



※レンタカーの利用が便利です。

主なコースの見どころ

1 御経塚遺跡

おきょうづかいせき



住 野々市市御経塚1丁目
☎ 076-227-6122
(野々市市文化振興課)
開 通年
料 無料
交 JR野々市駅から徒歩約10分

縄文時代後期～弥生時代初頭(3,700～2,500年前)の環状集落跡です。中心部に祭りや集会に使われた広場があり、その周りを住居が環状に囲んでいる構造となっています。1977年に遺跡中心部が国指定史跡となり、2010年には出土品4,219点が国の重要文化財に指定され、隣の野々市市ふるさと歴史館にて展示公開しています。

2 野々市市ふるさと歴史館

ののいちしふるさとれきしかん

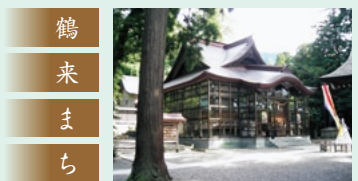


住 野々市市御経塚1-182
☎ 076-246-0133
開 10:00～16:00
休 月曜、祝日の翌日(土日を除く)、年末年始
料 無料
交 JR野々市駅から徒歩約10分
御経塚遺跡内

御経塚遺跡から見つかった重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」をはじめとする縄文時代から中世の遺跡や遺物を中心に、勸進帳で知られる富樫氏の関係資料、市有形文化財に指定されている文書などを展示公開しています。館内では土器づくりや勾玉づくりを体験でき、夏には夏休み古代体験を実施して、子どもたちに好評を博しています。

4 金劔宮

きんけんぐう



住 白山市鶴来日詰町E118
☎ 076-272-0131
開 通年
料 参拝無料
交 北鉄石川線鶴来駅から徒歩約10分

白山信仰の拠点として「白山七社」に数えられてきた神社。多数の神様を合祀し、鬱蒼とした境内には句碑や名跡が多くあります。秋に行われる「ほうらい祭り」は鶴来の風物詩となっています。古くは「劔宮(つるぎのみや)」といい、「鶴来」の地名はここから。

一閑寺

いっかんじ



住 白山市鶴来本町4チ-18
☎ 076-272-0453
開 8:00～17:00
料 拝観300円
交 鶴来駅から徒歩約6分

お堂の正面に一枚岩を彫られた日本最大級の高さ8mもの磨崖仏不動明王像があり、現在でも眼病や商売繁盛、魔除けなどの御利益があるとして人々の信仰を集めています。

鶴来別院

つるぎべついん



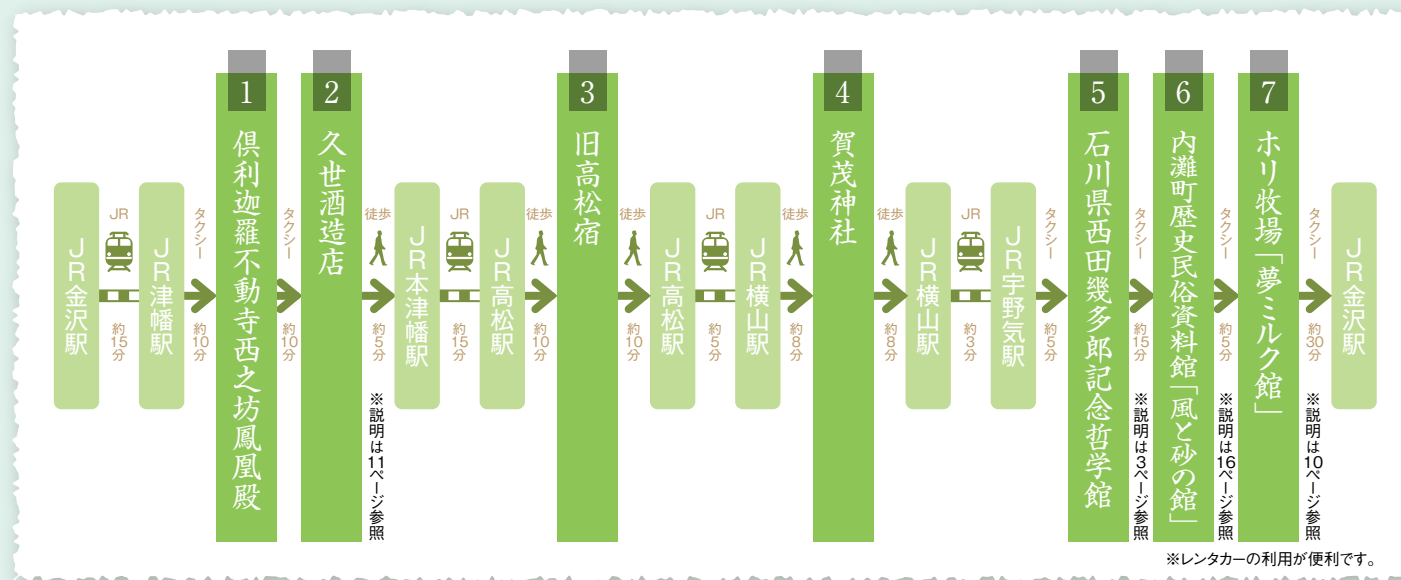
住 白山市鶴来清沢町ヨ12
☎ 076-272-0144
開 イベント時のみ一般公開
料 参拝無料
交 鶴来駅から徒歩約10分

真宗大谷派の別院。鶴来別院の前身は天文年間頃に創建されたと伝わります。当時は念仏講からなる念仏道場的な存在で民衆の心の拠り所となっていました。毎年10月後半には報恩講が催されます。

金沢駅から北と南をぐるっとめぐる周遊コース

北部ルート

津幡町から倶利伽羅不動寺西之坊鳳凰殿に立ち寄り、かつて加賀最北の宿場であった高松宿へ至ります。帰りは、海岸沿いを通して内灘町から金沢駅に戻ります。



※レンタカーの利用が便利です。

主なコースの見どころ

1 倶利伽羅不動寺 西之坊鳳凰殿

くりにからふどうじ にしのほうほうおうでん



住 津幡町竹橋ク128
☎ 076-288-1828
開 9:00～17:00(開門)
交 JR津幡駅からタクシー約10分、道の駅倶利伽羅源平の郷竹橋口のすぐ裏手

倶利伽羅峠にある倶利伽羅不動寺には、かつて七堂伽藍と十二ヶ寺があったと伝わり、その西之坊として平成10年復興されたものです。平安時代の建築様式をもとにした左右75mの壮大な木造建築です。境内には、春になると、色とりどりのツツジやボタンの花が咲き誇る庭園があります。

3 旧高松宿

きゅうたかまつしゆく



住 かほく市高松
☎ 076-283-7105
(かほく市産業振興課)
交 JR高松駅から徒歩約10分

高松宿は北国街道津幡宿から分岐する能登街道の最初の宿駅です。真っ黒な棧瓦葺き、横板張り家屋が連なるまちなみの中には千本格子を残した家もあり、宿場町だった当時の面影を感じさせます。宿場の南端には口銭(荷物輸送に関わる手数料等)徴収のための口銭場があったそうです。現在、口銭場の周辺は高松歴史公園として整備されています。

6 おはぎ屋

おはぎや



住 白山市白山町レ122-1
☎ 076-272-5510
開 9:00～16:30(土日祝は17:30)年中無休
料 笹寿司作り体験1人1,000円(笹寿司3個付き、3日前までに予約)
交 鶴来駅から徒歩約30分

つい最近まで電車が通っていた旧加賀一ノ宮駅のすぐ近く、白山比咩神社の表参道大鳥居前にあるおみやげと特産品の店です。自動車で参拝する人が大半の中、階段を使う参道のにぎわいを取り戻そうと地元の商工業者が空き店舗を使って立ち上げた手作りのお店です。看板商品のおはぎや笹寿司をはじめ朝採野菜なども並び、自慢の十割そばなど、食事もできます。笹寿司作りの体験もあります(要予約)。

4 賀茂神社

かもじんじゃ



住 かほく市横山リ119-1
☎ 076-285-0365
交 JR横山駅から徒歩約8分

古くから地域の人の信仰を集めた由緒ある神社です。社伝によると、かつては京都にあり、9世紀にこの地に遷座されたものとされ、京都の上賀茂神社の末社とされています。樹木がうっそうと生い茂る社叢はかほく市の指定天然記念物となっています。

アラウンドかなざわ《6つの市と町》



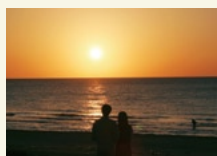
金沢市

圏域の中央に位置した金沢市には、北陸の中核都市として、現代的なまちなみの中にも、豊かな自然や藩政時代から受け継がれた伝統文化や景観が今も色濃く残っています。手仕事の技を活かしたものづくりも特色の一つです。



白山市

平成17年に誕生した、南端から北端までの距離が50km以上、高低差2700mという広大な市です。市のシンボル霊峰白山を源流とし、日本海に流れ込む手取川の扇状地に、豊かな自然と文化の共生するまちです。



かほく市

アラウンドかなざわエリアの一番北、加賀と能登との境に位置し、明治以降は繊維工業の町としても知られます。南北約13kmにおよぶ海岸線は遠浅で、夏はたくさんの海水浴客やキス釣りを楽しむ人たちが賑わいます。

野々市市

加賀一向一揆の支配となる戦国時代前半までの間、加賀の国の守護として富樫氏が館を置き、古くから加賀の政治・経済・文化の中心地として栄えました。江戸時代以降には北国街道の宿場町として発達し、近年では、優良な住宅地と商業地が集積する「市」のように賑わい溢れるまちです。



津幡町

八重桜や火牛の計で有名な源平合戦の地、俱利伽羅峠で富山県と接する県境の町です。加賀から能登と越中へ分かれる交通の要衝であり、市街地には道標が立っています。鉄道(JR)も津幡駅で北陸本線と七尾線が分岐しています。



内灘町

海岸線に沿って新しい市街地が続いています。粟ヶ崎遊園で一世を風靡した戦前から、戦後の内灘闘争、河北潟干拓、高度成長に伴うニュータウン開発の進展と、近代の歴史の中で大きく変化を遂げてきたまちです。



観光ボランティアガイド

地域の歴史、文化、暮らしに触れる「アラウンドかなざわ」の旅。

地元に精通したガイドさんの説明があれば理解も深まり、地域の魅力がずっと身近になります。事前に電話でお問い合わせください。

金沢市

まいどさん 金沢市観光協会内
TEL.076-232-5555

白山市

白山市観光ボランティアガイド協会
TEL.076-273-5699

かほく市

かほく市ボランティア観光ガイド かほく市商工会内
TEL.076-282-5661

野々市市

ののいち里まち倶楽部 野々市市産業振興課内
TEL.076-227-6082

津幡町

つばたふるさと探偵団 津幡町交流経済課内
TEL.076-288-2129

内灘町

風案内はまなすさん 内灘町観光協会(内灘町商工会内)
TEL.076-286-4200

交通の問い合わせ先

鉄 道

- 北陸鉄道(石川線・浅野川線)
北陸鉄道テレホンサービスセンター TEL.076-237-5115
- JR(北陸本線・七尾線)
JR西日本北陸案内センター TEL.076-251-5655

バ ス

- 北陸鉄道路線バス・城下まち金沢周遊バス
北陸鉄道テレホンサービスセンター TEL.076-237-5115
- 金沢ふらっとバス
金沢市歩ける環境推進課 TEL.076-220-2371
- JR路線バス・まちバス
西日本JRバス金沢営業所 TEL.076-231-1783

タ ク シー

- 石川県タクシー協会 TEL.076-254-1348

レンタカー(金沢駅周辺に営業拠点がある主な事業者)

- Jネットレンタカー TEL.076-255-1489
- トヨタレンタリース TEL.0800-7000-111
- 日産レンタカー TEL.0120-00-4123
- ニッポンレンタカー TEL.0800-500-0919
- マツダレンタカー TEL.076-223-5656
- JR駅レンタカー TEL.076-265-6639
- レンタカージャパレン TEL.076-221-3939
- オリックスレンタカー TEL.076-221-0543

レンタサイクル

- JR金沢駅レンタサイクル TEL.076-261-1721
- 北鉄レンタサイクル TEL.076-264-0919
- 金沢レンタサイクルまちのり事務局 TEL.0120-3190-47

お問い合わせ先

- 石川県金沢観光情報センター TEL.076-232-6200
- 金沢市観光交流課 TEL.076-220-2194
- 金沢市観光協会 TEL.076-232-5555
- 白山市観光課 TEL.076-274-9544
- 白山市観光情報センター TEL.076-273-4851
- かほく市産業振興課 TEL.076-283-7105

- かほく市商工会 TEL.076-282-5661
- 野々市市産業振興課 TEL.076-227-6082
- 津幡町観光協会(津幡町交流経済課内) TEL.076-288-2129
- 内灘町産業振興課 TEL.076-286-6708
- 内灘町観光協会(内灘町商工会内) TEL.076-286-4200

※各スポットの情報等は平成24年11月現在の情報であり、変更になる場合がございます。

AROUND KANAZAWA

【アラウンドかなざわ】周遊モデルコース

《平成24年11月発行》

新幹線金沢駅周辺地域連絡会事務局(金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町)
金沢市広坂1-1-1 金沢市都市政策局企画調整課内 TEL.076-220-2031